

Global Express

SAMPLE vol. 7 2008 February, Constitution

グローバル・エクスプレス サンプル版第7号 2008年2月発行

このアクティビティはグローバル・エクスプレス・セミナー(2006年12月26日)で実施したものです

この教材の著作権は(特活)開発教育協会に所属し、本誌の全部または一部を無断で複写・転載・引用・要約することは禁じます。本誌の「生徒用ワークシート」の複写による利用は、学問的な利用、教室・研究会等での利用に限ります。

「憲法改正」報道

アクティビティ1: フォトランゲージ 憲法って何？

今回のワークシートで示される「憲法」は、「日本国憲法」をさします。

目的 : 憲法は遠い存在ではなく、私たちの日常生活とつながっていることに気づく。

対象 : 中学生以上

備品 : 写真(「すすめ方」の例を参照)、憲法の条文、白紙

所要時間: 30~40分

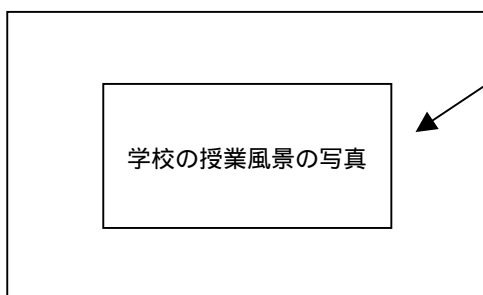
すすめ方:

参加者をグループ(4~6人)に分ける。

日常の何気ない風景・様子の写真を、各グループに3枚ずつ配る。

写真の例 学校の授業、お年寄りの集会、市民のデモ行進、工場で働く人、クリスマスや初詣などそれぞれの写真の中に、「守られている権利」や「守られていない権利」がないかを考え、挙げてもらう。

拡大コピーした写真を紙に貼り、参加者それぞれが余白に書き込めるようにすると楽しいでしょう。



余白への書き込みの例

- ・ 教育を受ける権利が守られている
- ・ 制服以外の自由な服を着る権利が守られていない
- ・ 学問の自由が守られている

日本国憲法と白紙を配り、 で挙げた権利がどの条文と適合しているか、照らし合わせてみる。気づいたことは白紙にメモをとる。

参考に『教科書日本国憲法』(一橋出版)の裏表紙「生活の中にいきる憲法」のマンガを見せてもよい。

私たちの一生と憲法との関わりをわかりやすく描いている。

メモをもとに、気づいたことや感じたことなどをグループごとに発表してもらう。

ワーク 1: 部屋の四隅 「世論調査」

発問の例:

Q1. 憲法を読んだことがあるか?

- よく読む
- たまに読む
- 何度か読んだことはある
- まったくない

Q2. 憲法に関心があるか?

- とてもある
- ある程度はある
- あまりない
- まったくない

Q3. 何%の人が「憲法を改正したほうがよい」と思っていると思うか?

- 約 70%
- 約 65%
- 約 55%
- 約 45%

目的 :

「憲法改正」を議論する前に、私たちはどれくらい憲法に対する知識・関心をもっているのか、改めて考えてみる。

世論調査の結果や報道のされ方は、メディアによって異なることに気づく。

対象 : 小学校中学年以上

所要時間: 10 ~ 20 分

すすめ方:

全員に起立してもらおう。

憲法や世論調査に関する四択のクイズや質問をし、回答ごとに会場(教室など)の四隅に分かれてもらう。

その回答を選択した理由などを、何人かに聞いてみる。

全体の意見を聞いてどう思ったか振り返る。

解答・解説: 各問のあとに、次の世論調査結果を紹介するとよいでしょう。

Q1 2005 年 NHK 世論調査より 「憲法に関心がありますか」

非常に関心がある(11.1%) ある程度ある(51.6%) あまりない(29.0%) まったくない(7.0%)

Q2 2005 年 NHK 世論調査より 「憲法を読んだことがありますか」

よく読んでいる(2.7%) たまに読んでいる(5.9%)
 何度か読んだことがある(28.7%) 読んだことがない(42.8%)

Q3 メディア各社の世論調査より どの社のいつの調査結果を使うかで、Q3 の正解は異なることになる。

2006 年 4 月 4 日 読売新聞	改正した方がよい	しない方がよい
	55.5%	32.3%
2006 年 3 月 5 日 毎日新聞	改正に賛成	改正に反対
	65%	27%
2006 年 5 月 3 日 朝日新聞	改正する必要がある	必要がない
	55%	32%
2005 年 4 月 12 日 日経新聞	改正すべきである	現在のままでよい
	54%	29%
2005 年 5 月 3 日 東京新聞	改正する必要がある・どちらかと言えばある	改正する必要がない・どちらかと言えない
	69%	20%
2005 年 3 月 12 日 NHK	改正する必要がある	改正する必要がない
	61.9%	17.0%

ワーク 2: ニュースレポーターになってみる

目的 :

「発信する側」を体験することで、報道がどう作られるのかを学ぶ。
中立の報道はありえるかを考える。

対象 : 中学生以上

備品 : 憲法に関する世論調査の結果(読売新聞)、ワークシート

所要時間: 40 ~ 50 分

すすめ方:

参加者をグループ(4~6人)に分ける。

各グループに、憲法に関する世論調査の結果とワークシートを配る。

これをもとに 30 秒の「世論調査に関するニュース番組」を作ってもらう。ワークシートには「番組作りの方針」が書かれているので、それに沿った報道をするよう伝える。

方針は「憲法改正を推進したい」「憲法改正をおしとどめたい」「中立な報道を心がけたい」の 3 つを設定、グループごとに異なる立場を与える。

グループごとに、30 秒のニュース番組を発表してもらう。

マイクやテレビの枠(ダンボールなどで作成)を用意すると、さらに盛り上がるでしょう。

全体でふりかえる。

問いかけの例 報道してみてどうだったか、他のグループの報道を見てどう思ったか、中立の報道はありえるか、私たちはメディアとどうつきあっていくべきか など

ワークシート(見本):

ニュースレポーターになってみる

みなさんは「憲法改正を推進したい」と考えています。
その方針に従って、与えられた情報をもとに 30 秒の
ニュース番組を作成してください。

- このニュースで大切だと思うポイントを 3 つ挙げてください。
- 誰にこのニュースを伝えたいと思いますか？
- みなさんのニュースに、タイトルをつけてください。

この他に...

「憲法改正をおしとどめたい」
「中立な報道を心がけたい」

の立場のシートを用意します

憲法に関する世論調査の結果(読売新聞):

「憲法」 2006年3月調査(面接方式)

調査日: 2006年3月11-12日

対象者: 全国有権者 3,000人

方法: 個別訪問面接聴取法

回収: 1,812人(60.4%)*

Q8 日本の憲法についてお聞きします。あなたは、今の日本の憲法のどんな点に関心を持っていますか。回答リスト5番の問題は、すべて憲法に関係するものですが、あなたがとくに関心を持っているものを、いくつでもあげてください。

[答え]	10. 天皇や皇室の問題	30.9
	20. 戦争放棄、自衛隊の問題	49.3
	30. 平等と差別の問題	16.4
	40. 言論、出版、映像などの表現の自由の問題	11.1
	50. 情報公開の問題	16.4
	60. プライバシー保護の問題	25.3
	70. 生存権、社会福祉の問題	16.9
	80. 環境問題	24.0
	90. 集会やデモ、ストライキ権の問題	2.0
	01. 選挙制度の問題	12.7
	02. 裁判の問題	12.5
	03. 靖国神社への公式参拝の問題	27.8
	04. 憲法改正の問題	16.2
	05. 三権分立の問題	4.1
	06. 地方自治の問題	12.0
	07. 国会の二院制の問題	8.4
	08. 憲法制定の過程や背景	5.7
	09. その他、とくにない、DK.NA	9.1

Q9 最近、国会や各政党では、憲法に関する論議が活発になっています。あなたは、こうした動きを、好ましいと思いますか、好ましくないと思いますか。

[答え]	1. 好ましい	42.2	2. どちらかといえば好ましい	29.2
	3. どちらかといえば好ましくない	11.0	4. 好ましくない	10.2
	5. DK.NA	7.5		

Q10 あなたは、今の憲法を、改正する方がよいと思いますか、改正しない方がよいと思いますか。

[答え]	1. 改正する方がよい	55.5
	2. 改正しない方がよい	32.2
	3. DK.NA	12.3

S Q 1 【質問対象 = Q10 の答えが(1)の人だけ】

あなたが改正する方がよいと思う理由は何ですか。回答リスト6番の中から、いくつでもあげてください。

[答え]1. アメリカに押しつけられた憲法だから	33.6
2. 国の自衛権を明記し、自衛隊の存在を明文化するため	32.5
3. 権利の主張が多すぎ、義務がおろそかにされているから	25.3
4. 憲法の解釈や運用だけで対応すると混乱するから	32.9
5. 国際貢献など今の憲法では対応できない新たな問題が生じているから	47.4
6. その他	1.5
7. DK.NA	1.9
0. 非該当 (Q10 の答えが(2,3)の人)	

S Q 2 【質問対象 = Q10 の答えが(2)の人だけ】

あなたが改正しない方がよいと思う理由は何ですか。回答リスト7番の中から、いくつでもあげてください。

[答え]1. すでに国民の中に定着しているから	36.3
2. 世界に誇る平和憲法だから	51.5
3. 基本的人権、民主主義が保障されているから	26.7
4. 時代の変化に応じて、解釈、運用に幅を持たせればよいから	20.5
5. 改正すると軍事大国への道を開くおそれがあるから	34.2
6. その他	1.0
7. DK.NA	0.7
0. 非該当 (Q10 の答えが(1,3)の人)	

Q11 戦争を放棄し、戦力を持たないとした憲法第9条をめぐる問題について、政府はこれまで、その解釈や運用によって対応してきました。あなたは、憲法第9条について、今後、どうすればよいと思いますか。回答リスト8番の中から、1つだけあげてください。

[答え]1. これまで通り、解釈や運用で対応する	32.6
2. 解釈や運用で対応するのは限界なので、憲法第9条を改正する	39.3
3. 憲法第9条を厳密に守り、解釈や運用では対応しない	20.9
4. その他	0.2
5. DK.NA	7.0

Q12 憲法第9条には、自衛のための組織を持つことについて直接触れた規定はありません。あなたは、自衛隊の存在を憲法で明確にすべきだと思いますか、そうは思いませんか。

[答え]1. そう思う	46.8	2. どちらかといえばそう思う	24.4
3. どちらかといえばそうは思わない	11.4	4. そうは思わない	11.3
5. DK.NA	6.1		

Q13 日本と密接な関係にある国が武力攻撃を受けたとき、この攻撃を、日本の安全を脅かすものと見なして、攻撃した相手に反撃する権利を「集団的自衛権」と言います。政府の見解では、日本もこの権利を持っているが、憲法の解釈上、使うことはできないとしています。この集団的自衛権について、回答リスト9番の中から、あなたの考えに最も近いものを、1つだけあげてください。

- [答え] 1. 憲法を改正して、集団的自衛権を使えるようにする 26.9
 2. 憲法の解釈を変更して、集団的自衛権を使えるようにする 22.7
 3. これまで通り、使えなくてよい 43.5
 4. その他 0.1 5. DK.NA 6.7

Q14 憲法は国会の構成を衆議院と参議院の二院制としています。国会の二院制のあり方については、様々な議論がありますが、回答リスト 10 番の中から、あなたの考えに最も近いものを 1 つだけあげて下さい。

- [答え] 1. 参議院をなくして、一院制にする 27.8
 2. 二院制を維持し、衆議院の役割や権限を強化する 8.8
 3. 二院制を維持し、参議院の役割や権限を強化する 16.9
 4. 今のままでよい 40.7
 5. その他 0.8 6. DK.NA 4.9

Q15 日本の憲法について、あなたが、今の条文を改めたり、新たな条文を加えたりする方がよいと思うものがあれば、回答リスト 11 番の中から、いくつでもあげて下さい。

- [答え] 10. 天皇の地位やあり方 24.2 01. 国と地方の役割 25.2
 20. 自衛のための軍隊保持 27.4 02. 憲法裁判所の設置 4.5
 30. 積極的な国際協力 21.9 03. その他 0.1
 40. 行政機関の情報を知る権利 18.3
 50. 個人情報やプライバシーの保護 27.6
 60. 家族の尊重 11.5
 70. 良好な環境で生活する権利 27.6
 80. 緊急事態などへの首相の権限強化 12.4 04. とくにない 16.4
 90. 衆議院と参議院の役割 13.5 05. DK.NA 2.9

Q16 あなたは、日本の憲法では、とくにどのような理念や考え方を強調するのが望ましいと思いますか。回答リスト 12 番の中から、3 つまであげて下さい。

- [答え] 1. 伝統や歴史の重視 29.2 6. 社会における平等の重視 24.0
 2. 自然や環境の保護 40.3 7. 教育・文化・科学技術の振興 25.2
 3. 国際社会への貢献 26.3 8. 経済的な豊かさの追求 15.3
 4. 平和の大切さ 67.7 9. その他 0.1
 5. 個人の自由の重視 12.6 0. とくにない、DK.NA 4.9

Q17 今の憲法には、憲法の改正に関する規定がありますが、国民投票など、改正の具体的な手続きを定めた法律は整備されていません。あなたは、こうした法律を整備しておくことに、賛成ですか、反対ですか。

- [答え] 1. 賛成 68.7 3. どちらとも言えない 20.3 2. 反対 7.0 4. DK.NA 4.1

Q18 地方制度の改革の一環として、現在の 47 都道府県を統合・再編して、全国をいくつかの道や州にまとめる「道州制」が議論されています。この道や州に、外交や防衛などを除いて、今の国の役割をできるだけ移すというものです。あなたは、この道州制の導入に、賛成ですか、反対ですか。

- [答え] 1. 賛成 17.5 3. どちらかといえば反対 24.1
 2. どちらかといえば賛成 19.3 4. 反対 25.2 5. DK.NA 13.9

ワーク 3: 憲法についての意見カード

目的：憲法について色々な意見があることを知る。他人の意見に触れ、様々な感じ方があることを知る。

対象：中学生以上

備品：憲法についての意見カード

所要時間：15～30分

すすめ方：

憲法について、さまざまな人・団体の意見が書かれたカードを各グループに配り、みんなで見る。

「一番印象に残った意見」など、感じたことや気づいたことをグループ内で話し合う。

全体でふりかえる。

憲法についての意見カード：

同じ番号のカードが対になっています。表は意見、裏はその発言者(団体)です。

枚数・文字量が多いので、対象や時間など、実施状況によってはカードを減らして使うこともご検討ください。

日本国憲法は、半世紀以上も改正されていないのは問題。この間に価値観はずいぶん変わっており、古い価値観にもとづく点は是正すべき。	今はこの国が明確な将来ビジョンを描ききれていないので、憲法の全面的見直しは少し時間を置いたほうがいい。	9条を素直に読めば、自衛隊は違憲とされても不思議ではない。集団的自衛権もふくめ、分かりやすい形にすべき。
与野党 4 幹事長憲法座談会 自民党・山崎拓 (2003年5月3日)	与野党 4 幹事長憲法座談会 民主党・岡田克也 (2003年5月3日)	与野党 4 幹事長憲法座談会 自民党・岡田克也 (2003年5月3日)
環境権、プライバシーの権利は、憲法条文に書き込んでも何もかわらない(書き足せば、何か良いことが実現するわけではない)。	ともかく軍備を放棄せよという考え方は、「善き生き方」を教える信仰ではありえても、立憲主義と両立しうる平和主義ではない。	自衛隊による内外の平和・安定への協力や、国際社会における信頼性の向上は、既に示した国家目標の実現にも欠かせない。
『憲法と平和を問い直す』 東大教授 長谷部恭男	『憲法と平和を問い直す』 東大教授 長谷部恭男	「わが国の基本問題を考える」 日本経済団体連合会 (2005年1月18日)

<p>憲法前文は理解が困難。わが国の歴史、文化、伝統などの固有性、独自性を十分にふまえた国家理念を示すべき。</p>	<p>「基本的人権の尊重」については、行き過ぎた利己主義の風潮をいましめるべき。</p>	<p>国民の中に自然と「愛国心」が芽生えてくるような、新しい憲法にしなければならない。</p>
<p>「わが国の基本問題を考える」 日本経済団体連合会 (2005年1月18日)</p>	<p>自民党 憲法改正プロジェクト チーム「論点整理」 (2004年6月15日)</p>	<p>自民党 憲法改正のポイント (2004年)</p>
<p>テロや北朝鮮の拉致などがあり、9条を世界にPRすれば平和になる状況ではない。国や国民の安全確保のため、9条を改正すべき。</p>	<p>環境権や、プライバシー権などの新しい人権を加える「加憲」という立場である。</p>	<p>憲法は国民が守るべきものではなく、国民が国家に守らせるもの。国家が国民の人権を侵害してトンデモナイ事をしないよう、歯止めをかけておくのだ。</p>
<p>自民党 憲法改正のポイント (2004年)</p>	<p>公明党 党全国大会運動方針 (2004年10月31日)</p>	<p>マガジン9条 「伊藤真のけんぼう手習い塾」</p>
<p>改憲か護憲かを論じる前に、まず憲法を知ること、つまり「知憲」が必要ではないか。</p>	<p>憲法改正の理由 1) 憲法制定時、日本は独立していない 2) 戦後60年がたち時代にそぐわない条文や新しい価値観がある 3) 広く国民で議論して新憲法をつくること時代を切り開く</p>	<p>日本国憲法は、当時のアメリカ人に生きていた人間の思想の良い所と、敗戦後の日本人の反省から生まれた良いところが合体した奇蹟。日本だけで作ったのではないからこそ価値がある。</p>
<p>中日新聞 連載・日本国憲法逐条点検 (2005年2月～)</p>	<p>CNNのインタビュー 安倍晋三首相(当時) (2006年10月31日)</p>	<p>『憲法九条を世界遺産に』 太田光・中沢新一 (2006年)</p>

<p>軍隊をもつべきかの議論では「目の前で彼女がレイプされても黙って見続けるのか」という人があるが、それは違う。国家が動くレベルと個人が動くレベルは違うはず。</p>	<p>9 条を世界遺産に。人間は愚かだから、何があってもこれだけは守ることに決めておこうというのが、世界遺産の精神。</p>	<p>日本の本当の脅威は、石油や食料を他国に依存していることや地球温暖化など、軍事力では対処できない問題。憲法を変え戦力をもつことに税金を使うことは賢明ではない。</p>
<p>『憲法九条を世界遺産に』 太田光・中沢新一 (2006年)</p>	<p>『憲法九条を世界遺産に』 太田光・中沢新一 (2006年)</p>	<p>持続可能なスウェーデン協会 日本代表 レーナ・リンダル (2006年4月26日)</p>
<p>日本のPKO参加は、特定の国の戦争に加担する恐れがある。9条に「自衛隊は海外で武力行使できない」と明記すべき。</p>	<p>韓国では日本の9条を知る人は少ない。日本の政治家の暴言や靖国参拝が大きく報道される中では平和憲法は見えてこない。9条の存在を発信し平和の精神を伝えてほしい。</p>	
<p>ドイツ法律家 アルネ・ファーイエ (2005年12月14日)</p>	<p>韓国歴史家 ハン・ホング (2005年12月28日)</p>	

Global Express ニュース



レポート、感想をお寄せください

<http://www.globalexpress.jp/>

ウェブサイトからの教材ダウンロードも、とても多くの方にご利用いただいています。タスクチームでは、教材をご覧になった感想や、レポートを募集しています。

「こう使った」「ここが使いにくかった」「こんな風に応用させた」等々、どんなことでも結構です。

実践報告をウェブサイトの「実践レポート」コーナーに掲載することもできますので、ご希望の方は下記 DEAR 事務局(担当:中村、西)までご連絡ください。

グローバル・エクスプレス日本版 第1号～5号 好評領布中！

教育の現場で活用できるアクティビティが詰まったグローバル・エクスプレス。ぜひセットでお求めください。

セット: 会員価格 3,360 円(税抜 3,200 円)、一般販売価格 4,410 円(税抜 4,200 円)

- 第1号 ニュースに耳を傾ける(基本編)
- 第2号 攻撃を超えて(9.11 同時多発テロとイスラム)
- 第3号 難民(難民、日本における難民政策)
- 第4号 イラク(イラク問題、紛争の解決)
- 第5号 戦争報道(イラク戦争と報道)



➔ 「グローバル・エクスプレス サンプル版」について

- ・グローバル・エクスプレス・タスクチームが時事問題をテーマにした教材を速報アクティビティとして提案します。
- ・2004年度は「DEAR ニュース」の付録として年5回の発行を目指します(6月、8月、10月、12月、2月)。
- ・このサンプル版は、一定期間経過後、グローバル・エクスプレスのホームページ(www.globalexpress.jp)に掲載されます。
- ・速報アクティビティへのご意見・ご提案・実践報告は大歓迎です。
- ・今年度、グローバル・エクスプレス・タスクチームには、ほとんど活動予算がありません。ご寄付も歓迎します。
(ご寄付は、セミナー開催費用、冊子印刷費用、HP維持費、資料購入費などに利用いたします)

➔ この教材のご利用について

この教材の著作権は(特活)開発教育協会に所属し、本誌の全部または一部を無断で複製・転載・引用・要約することは禁じます。本誌の「生徒用ワークシート」の複製による利用は、学問的な利用、教室・研究会等での利用に限ります。

特定非営利活動法人 開発教育協会(DEAR)

〒112-0002 東京都文京区小石川 2-17-41 富坂キリスト教センター 2号館3階

Tel: 03-5844-3630 Fax: 03-3818-5940

E-mail: main@dear.or.jp URL: <http://www.dear.or.jp>

